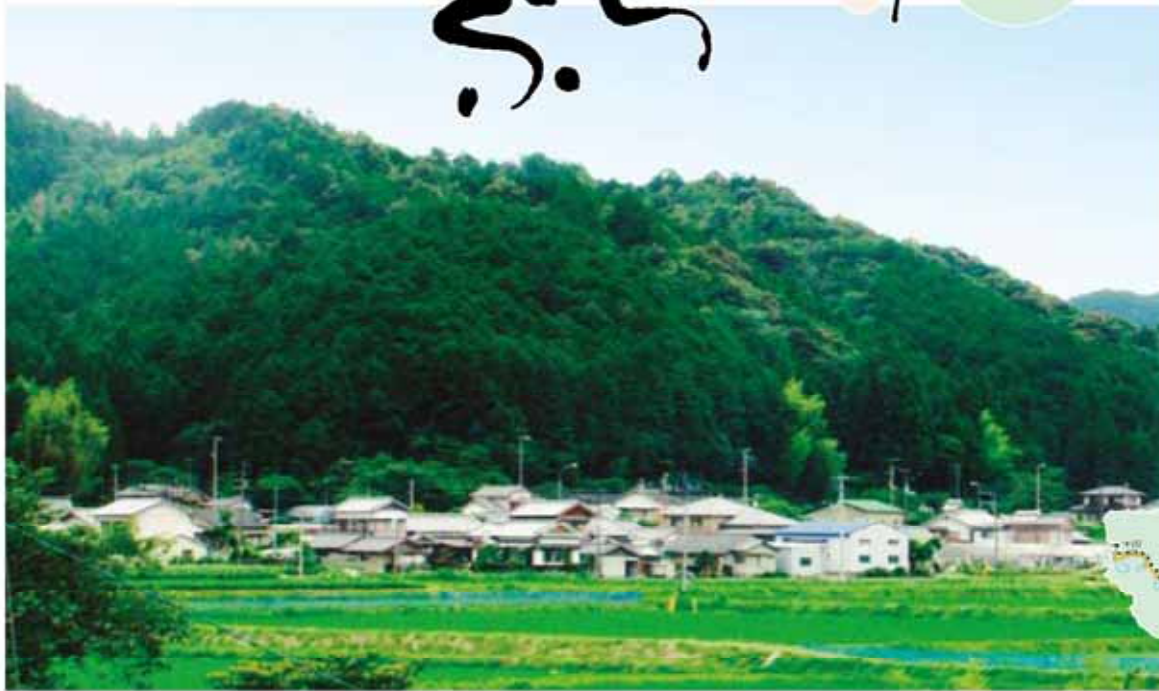


六反地



高知市の九反田のように地積に関係する地名は多い。この地の六反が気にかかり土地の人に聞いてみた。「大昔は六反しか田がなかったらうかのう」という返事。寛保3年の「土佐国七郡郷村帳」には「六反地新田村161石5斗4升、戸数19、牛5」とある。250年前の記録であるが、これだけの米がとれていた。ということ、もつと古い時代につけられた地名かもしれない。現在は整備された田んぼが整然と並び、青々とした稲が出穂を待っている。ちなみに「牛5」は現在は牛70で、若き酪農家が頑張っている。

この地区は42世帯で構成されているが、2つの常会に分かれておりそれぞれに氏神様がある。街分の氏神様は「長山様」、郷分は「和霊神社」といい宇和島の和霊様一派である。古来和霊大明神といい、元は高い石段を登った所にあったが、今は山麓の平地に移されている。本殿はそのままの姿を残し、拝殿は「六反地老人里の家」として利用されている。

「大きな手水石ですね」「太いろう。2トンはある」と、地元の人。天然石である。産土神の

社は電気を引いていない所が普通だが、長山様は引いている。夏神事は扇風機の風を受け、涼しく飲める。

仁井田の真中

私たちの祖先は土佐市の方から来たんでしようかね。今は行われていないが昭和40年ごろまで「大綱引き」があった。盆の行事で祭の数日前から子どもたちは藁集め、綱は切れないように孟宗竹の割ったものを編み込んだ。この地を中心に上下での引き合い。負けるのはどちらも嫌。トラックにくくり付けるという反則もあり度々喧嘩が勃発。「でもその場限り」と土地の長老は懐かしんでいた。

仁井田村には東西にまとまった集落があり、中学校の建設位置問題が浮上。結局真中のこの地にできた。それに日露日支事変大東亜戦の英霊を祭る護国神社もこの地にある。保育所も地区内ではないがすぐ近くに建設予定。コンビニもあり人の集まる所、真中をイメージさせられた六反地。盛夏の風が心地よい。



和霊神社の手水石

町のうごき	(6月30日)		人口		前月比		出生		死亡		転入		転出		
	男	女	計	世帯数	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
	9,321	10,443	19,764	8,820	-9	-10	-19	6	5	11	15	11	14	18	32

(6月中の届出)

四万十川の水質状況	適正値(mg/l)	6月4日
リン酸	≤ 5.0	測定値以下
硝酸	≤ 0.5	0.541
アンモニウム	≤ 5.0	測定値以下
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.500
化学的酸素消費量	≤ 10.0	2.393

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

※広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)

調査：大正(吾川)
資料：四万十高校自然環境部